

2023

大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク
2023年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2023

あなたがいれば、カタチが変わる

ナゴヤを舞台に、
創造と発見で、
一人ひとりの世界を変える

「NPO法人大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク(以下DNU)」は、
「まち」と「学び」を掛け合わせて生まれたプロジェクト「大ナゴヤ大学」を運営するため、
2009年に設立されました。

つねに何かを生み出し続けているまちは、面白い人の宝庫です。
そんな人たちとの出会いを通じて、「問い」を見つけ、気づきを得る。
同時に「わからない」こともたくさん生まれ、そこからさらなる「問い」が生まれる。
それらを繰り返していくうちに、一人ひとりの行動が変わっていく。

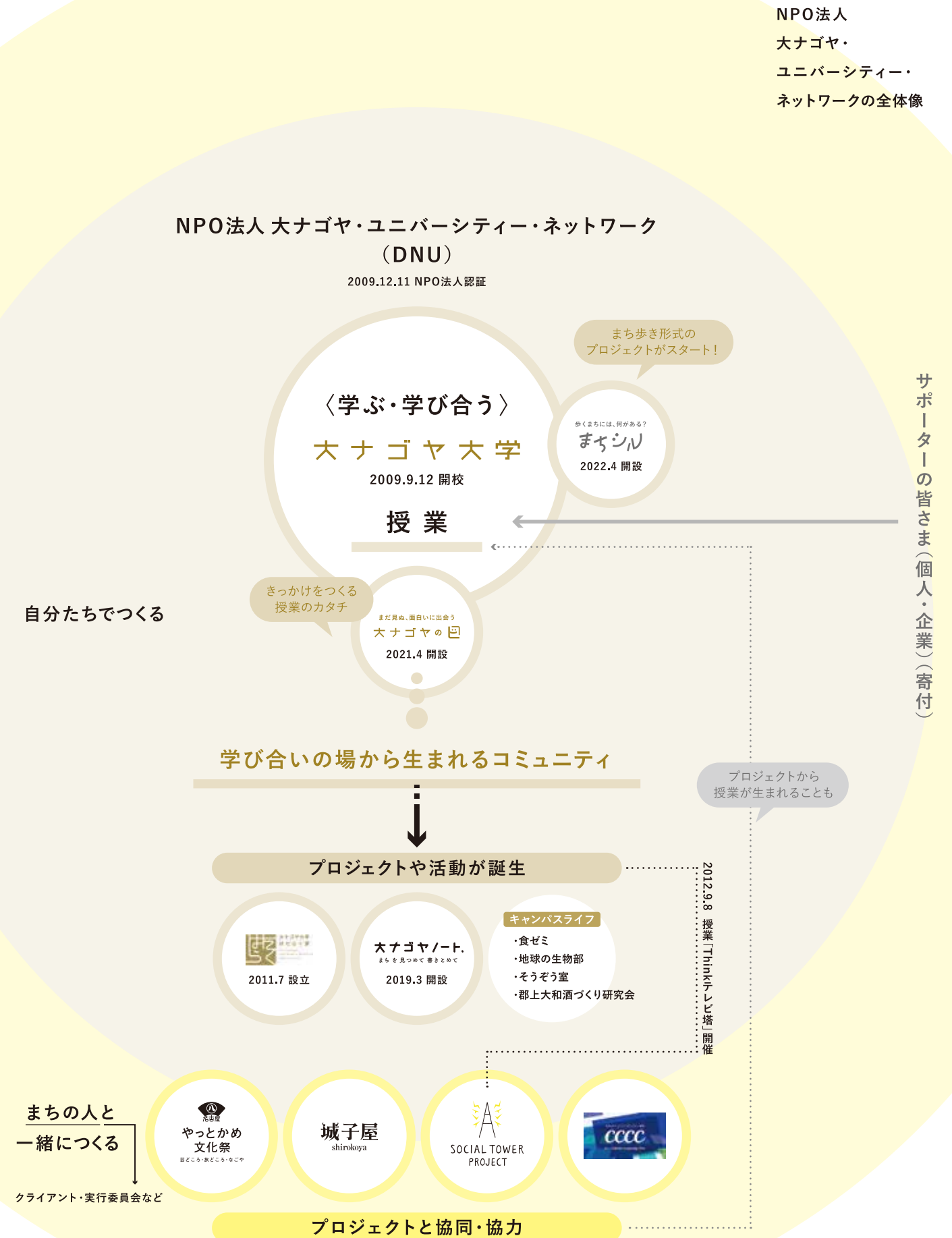
「学び合う」場をつくる。人と人とがつながっていく。
「問い」を起点につなげた仲間と、活動やプロジェクトを立ち上げる。
創造と発見があるコンテンツをつくる。
学び続けることで、一人ひとりの見えている世界が変わる。

この積み重ねが、やがてまちや社会を形づくっていくのではないのでしょうか。

「あなたがいれば、カタチが変わる」

あなたがこのまちの主役です。
「何をやるか」よりも「誰とやるか」を大切に。

ひとりの思いを大切に、これからも場をつくり続けていきます。



Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2023

もくじ

05 自分たちでつくる

- 06 大ナゴヤ大学
- 07-09 大ナゴヤの日
- 10-11 ボラストайンタビュー ワタシの気づき、変化
- 12 まちシル
- 13 大ナゴヤノート、／はたらく課
- 14 キャンパスライフ

15 まちの人と一緒につくる

- 16 やっとかめ文化祭
城子屋
SOCIAL TOWER PROJECT

17 DNUからのお知らせ

18 DNU理事より

19 財務報告

自分たちでつくる

ナゴヤのまちをフィールドに、人と人とが学びを通し、つながる。

世代も職業も異なる多様なメンバーが、

ボランティアスタッフやコーディネーターやエディターとなって

主体的につくり上げている事業がいくつもあります。



About

大ナゴヤ大学

誰でも先生、誰でも生徒。
学びの種は、
まちにあふれている

大ナゴヤ大学には校舎がありません。まちがまるごとキャンパスです。まちの人が先生に、学びたい人が生徒となり、ゆかりの場所が教室に変わります。授業のテーマは、暮らしや働き方、まちの文化・歴史、アート、農業、カルチャー、ものづくり、スポーツなど多種多彩。つねに何かを生み出し続けているまちは、学びの宝庫です。

学ぶは面白い。
学びたいときに、学ぼう

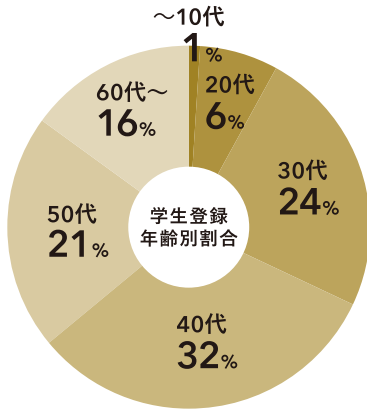
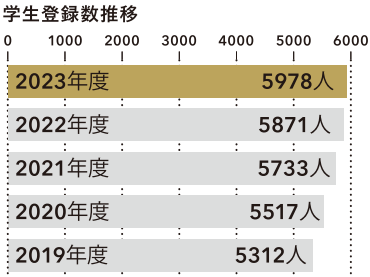
興味のあることを学ぶうちに、今まで知らなかったことに気づく。知らなかったことを知りたくなり、新たな学びに足を踏み入れる。好き・楽しいから始まる「学び」は、「遊び」との境界があいまいになるくらいワクワクするもの。大ナゴヤ大学は、年齢に関係なく学びたいときに学べる場として、門戸を開いています。ワクワクしたその瞬間から学び始めましょう。

みんなでつくる、
「学ぶ・学び合う」場へ

「一人目の生徒として、自分が受けた授業をつくる」という考えを大切に、授業づくりをしてきました。2022年度より、いろいろあった授業を目的ごとに「大ナゴヤの日」・「まちシル」・「城子屋」と整理し、大ナゴヤ大学は「学ぶ・学び合う」場のプラットフォームとなりました。

大ナゴヤ大学では、人が集う場をつくり、
「授業」という「問いを通じて、未来の可能性と出会う」コンテンツを提供しています。

誰でも生徒
学生登録数 **5978**人



まちじゅうがキャンパス
教室 **401**カ所

まちにいるあの人！
先生 **737**人

「面白がる視点」で授業づくり
授業コーディネーター **86**人

垣根なく集まっています
ボラスタ **314**人

2023年度実績

年間授業総数

2021年度：39コマ
2022年度：34コマ

39コマ

のべ授業参加者数

2021年度：471人
2022年度：431人

471人

About

大ナゴヤ大学 大ナゴヤの日

紹介ページへ



大ナゴヤの日とは？

2021年4月から「まだ見ぬ、面白いに出会う」をキーワードにさまざまな授業を企画してきました。多様なテーマを扱うことで偶然の出会いを生み、授業を通して学びの面白さと出会える場を目指します。大ナゴヤの日の授業は、たくさんのボランティアスタッフと一緒に運営しています。授業をよりよくするための振り返りを毎月行うなど学び合いの場づくりを通じ、自分の思いを言葉にする機会も多く、“ありがたい”自分に気づけるコミュニティにもなっています。

どんな授業？

毎月第2土曜日に、参加費無料の授業を展開してきました。大ナゴヤの日の授業は老若男女問わず集まり、一つのテーマについて考えながら交流することで、思わぬ出会いや気づきが生まれる学び合いの場です。

「大ナゴヤの日」授業 PICK UP

いつものモノが「もしも」に使える、カジュアル防災入門！
～何を持つかを考えてみよう！～

◎開催日時 | 2023年6月10日(土) 13時～15時 ◎教室 | スペース七番 スペース2
◎先生 | 佐藤里香/防災士・magocoro base代表 ◎授業コーディネーター | いくえ

「防災をカジュアルに」をテーマに活動している先生と、誰でも当事者になる可能性のある防災について考えました。防災を身構えて難しく捉えるのではなく、気軽に取り組めるマインドが大切だと気づくことができました。



はなす、きく、かんがえる、つながる。～対話でほどく、心のモヤモヤ～

◎開催日時 | 2023年7月8日(土) 14時～16時 ◎教室 | なごのや別館ラウンジ
◎先生 | 松戸里沙子(ふなちゃん) / 大ナゴヤ大学 ボランティアスタッフ・授業コーディネーター
◎授業コーディネーター | 小林優太・松戸里沙子

大ナゴヤ大学で活動しながらデンマークに留学中のふなちゃんと、海を超えてオンラインで開催。ボランティアスタッフも企画段階から携わりながら、対話をテーマに心地よく場を共有するあり方を考え、自然体で対話を楽しみました。



大正浪漫あふれるレトロな建物を味わおう！
～文化のみち榎木館を見て、知って、飾りつけて～

◎開催日時 | 2023年11月11日(土) 13時30分～16時 ◎教室 | 文化のみち榎木館
◎先生 | 香川絢子/文化のみち榎木館 館長、水谷陽治/(株)東洋繊維 専務取締役 ◎授業コーディネーター | ジェイ、オシム

文化のみち榎木館を見学後、美濃和紙の繊維を使った靴下の端材で飾り物を作りました。二つのテーマに共通するのは「古きを大切に、新しい価値を生み出す」こと。自分の手で作った飾りを文化財の中に飾るという体験に盛り上がりました。



学び合いの場から生まれるコミュニティ

「みんなでつくる」を大切に、授業という“学び”の場をボランティアスタッフ(=ボラスタ)の皆さんと一緒につくってきました。

毎月第2土曜の「大ナゴヤの日」を中心に、授業後には「振り返り」の機会を設けるなど、メンバー間での“学び合い”の場としての機能も持たせています。さらに、同日にボラスタ同士がお互いをもっと知るための懇親会なども開催。定期的に人が集まり、ゆるやかなつながりが広がっていく環境から、コミュニティが生まれています。

このコミュニティでは、次の2つの言葉を大事にしています。

- 「あなたの好きも みんなの好きも たいせつ」
- 「学び合いから生まれる 次の一歩」

“好き”という感覚を大切にするなかで、“行動してみる”文化が育まれ、授業づくりにチャレンジすることも。2023年度は、「大ナゴヤの日」の運営を一緒につくっていく取り組みも始まります。



2023年度 授業コーディネーターデビュー！



いくえさん

作った授業

いつものモノが「もしも」に使える、
カジュアル防災入門！
～何を持つかを考えてみよう！～



ジェイさん

作った授業

大正浪漫あふれるレトロな建物を味わおう！
～文化のみち榎木館を見て、
知って、飾りつけて～

「大ナゴヤの日」の運営を一緒につくっていく取り組みとして、授業後の「振り返り」・「懇親会」を企画運営していくチームも生まれました。

ボラスタ行動指針

- 1

やりたいという
気持ちを大切にする
- 2

自分の思いを
言葉にする
- 3

相手を尊重する
- 4

学び合う姿勢をもつ
- 5

何事も面白い

主な活動

noteマガジン

noteマガジン「大ナゴヤなひと。」では、多種多様なバックグラウンドをもつ大ナゴヤ大学の各メンバーにフォーカスを当てて発信しています。2023年度には第11回の記事を更新。



つくり方ゼミ

これから授業をつくってみたいと考えているメンバーと、事例を交えながら授業づくりのポイントを伝える場をつくっています。今年は1日かけて6名の参加者と一つの授業を企画するところまで実践。



録年会

大ナゴヤ大学の1年を振り返り、記録するために毎年12月に開催。2023年度は対面での録年会が実現しました。新しいボラスタメンバーが工夫を凝らした企画を用意して盛り上がりました。



寄付について

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、授業における講師謝礼等に充てさせていただきました。

サポーター費用

年間サポート

500円／月
1,000円／月
2,000円／月

ワンタイムサポート

指定なし

NPO法人
大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク

大ナゴヤ大学

授業

大ナゴヤの ㊦

- ・講師謝礼
- ・コーディネーター費
- ・会場費

コミュニティ

大ナゴヤ大学の運営と共に、関わる人たちが集う
コミュニティが運営され続ける

プロジェクトや活動が誕生

大ナゴヤ大学の活動を基軸に、
まちを彩る新たなプロジェクトが生まれる

◎「大ナゴヤの日」に関わる費用

◎各種運営費

(事務所やWebサイトに
関わる固定費) ...など

寄付

サポーターに
なっていていただく

◎月々の実施報告

◎報告会・報告書の発行 ...など

サポーターの皆さま

ワタシの気づき、変化



きょうこさん

きょうこさんの歩み @DNU

2018.9 生徒で授業に初参加

2021.5 ボラスタ登録

2021.11 noteチームのメンバーとなり、
「大ナゴヤなひと。」初執筆

2024.4 授業コーディネーターデビュー

「好き」と出会う可能性を広げたい

- A1.** 大ナゴヤの活動を通じて2つの大きな気づきがありました。人生はお金を稼ぐ仕事だけで構成されているわけではないこと、新しい体験や学びの企画をすることが好きだということです。大ナゴヤ大学に出会ってからは「好きなことは何か」を確かめながら生きています。仕事一色だった人生がより鮮やかになりました。
- A2.** 自分の興味を大切にしようと思うようになりました。大ナゴヤ大学で出会ったボラスタさんの影響から、興味がないことにも足を踏み入れると、新しい自分の好きに出会えるかもしれない考えるようにもなりました。大ナゴヤの活動に自分の時間を使いたいので、仕事はほどほどにして「楽しい」と思う気持ちを優先して暮らすようにもなりました。
- A3.** 甘いものと辛いもの、お酒が大好きなので、あんこや味仙の台湾ラーメン、味噌の授業を作りたいです。自分のやりたいことも大切ですが、私以外のコーディネーターさんが作る授業も魅力的なので、ボラスタとしても活動したいです。

大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワークのさまざまな場面で活躍する人たちにお話を聞いてみました。それぞれにどんな変化が訪れたのでしょうか。

- Q1.** 活動を通して、どんな「気づき」がありましたか？
Q2. あなたの「暮らし」「考え方」「行動」に起きた変化は？
Q3. これからどんな活動をしていきたいですか？

人とのつながりを大切に、
誰かの「楽しい」のきっかけを

- A1.** 人との関わりや新たな視点の授業から、興味や視野が広がっていきました。大ナゴヤ大学をきっかけに気になる方に取材をしたり、授業と一緒に作ったりと貴重な経験も。ボラスタでは写真やレポートの担当をしたことで、自分の得意や好きを伸ばすきっかけにもなりました。
- A2.** 就職で名古屋に来たので、名古屋の友人が増えて暮らしが楽しくなりました。フリーランスとして活動し始めてからは、大ナゴヤ大学で出会った方と一緒に仕事をすることも増えています。人のご縁やつながりを大切にしながら、今後も活動していきたいと思います。
- A3.** 生徒、ボラスタ、エディター、まちシルのコーディネーターなどさまざまな立場に関わってきました。まちシルでは「まちの面白さを知った」「まちシルがきっかけで初めて来た」という方もいてうれしかったです。今後は「福祉」に関する授業や、自分自身が一時的に仕事から離れる「キャリアブレイク」の経験を生かした「大ナゴヤの日」の授業も作ってみたいです。



おかんちゃんさん

おかんちゃんさんの歩み @DNU

2018.5 生徒で授業に初参加、ボラスタ登録

2019.3 ボラスタデビュー

2019.3 「大ナゴヤノート」のエディターになる

2020.3 「大ナゴヤノート」で初記事掲載

2023.5 「まちシル」運営メンバーになる

2023.12 「まちシル」で授業コーディネーターデビュー



ざかっぺさん

ざかっぺさんの歩み @DNU

2013.10 「NAMO.」のボラスタ説明会に参加
（@名古屋テレビ塔3階会議室）2013.10 「NAMO.」にボラスタ参加、
そこから大ナゴヤ大学と関わる

2014.6 「貿易ゲーム」の授業でボラスタデビュー

その後は主にレポート担当として活動

大ナゴヤでも仕事でも、
大好きな名古屋のことを伝えたい

- A1.** 父親の転勤に伴い、小学校時代を名古屋で過ごしました。名古屋を離れても当時の楽しい思い出が忘れられず、大人になったら名古屋に恩返ししたいと思って2013年に名古屋に来てそのまま住み着いています。大ナゴヤに軽い気持ちで入りましたが、けっこう自分は周りの人に比べて濃いキャラなんだという「気づき」がありました。
- A2.** 2015年9月に大ナゴヤの初代学長の加藤慎康さんが勤務していた「名古屋テレビ塔」で働くことになりました。栄の賑わい創出や、テレビ塔で大ナゴヤの授業をする際のサポートをしています。2013年にボラスタ説明会で訪れたテレビ塔でまさか自分が社員として働くとは夢にも思いませんでしたが、今では栄やテレビ塔は我が家同様になっています(笑)。
- A3.** 栄のまちづくりや愛知県にある登録有形文化財の所有者の会の事務局もしているので、文化財を通じたまちづくりを引き続き行いつつ、名古屋の素晴らしさを全世界に発信していきたいです！

やりたい! ができる場所で好きと得意が見つかった

- A1.** 授業の企画や進行などを経験し「私は人が集まる場づくり」が好きだと再認識できました。また、特技も才能も特にないと思っていた自分にもできることがあるということもわかりました。大ナゴヤ大学の周りには多様な関心をもつメンバーがいるので、自分の興味や好きの幅が広がっていくのが楽しいです。
- A2.** もともとまち歩きは好きだったけれど、より多くのことが目につくように。「これ授業にできないかな？」という視点ができたことで、お店や地域の人に声をかけることに抵抗がなくなりました。地元や住んでいる地域のことを知ってもっと好きになりたいと思うようになり、現在は地域の朝市の実行委員としても活動しています。
- A3.** アートが大好きなので、アート×まちあるきで授業をつくりたいです。私自身は新たな出会いをたくさん経験し、人生の充実度がぐっと上がったので、大ナゴヤ大学に興味を持ってくれる人、関わってくれる人を増やすための活動もしていきたいです。



あおみーさん

あおみーさんの歩み @DNU

2022.3 「大ナゴヤの日」授業初参加

2022.9 ボラスタデビュー（受付担当）

2022.12 「録年会」企画

2023.2 初めて授業企画から参加

2023.4 ボラスタ説明会、企画・運営

2023.7 ボラスタ説明会、先輩ボラスタとして登壇

2023.9 大ナゴヤ大学14周年授業に

ボラスタとして参加

About

まちシル

歩くまちには、何がある？

紹介ページへ



歩くまちには、何がある？

まちを知る楽しさを体感できる、まち歩き形式のプロジェクト「まちシル」。個性ゆたかな案内人たちの視点を借りてまちを歩けば、視界はもっと鮮やかに広がるはず。ただ暮らしているだけでは見落としてしまうような、身近に散らばる「おもしろい」を、実際に歩いて見つけます。

2023年度実績 開催数 **12** コース

2023年度の「まちシル」コース一例

ありがとう、星が丘ボウル！
～最後のボウリング場見学と星が丘テラスの今
ガーデニングワークショップも～

◎開催日時 | 2023年10月29日(日) 10時30分～12時 ◎教室 | 星が丘テラス界限
◎先生 | 柏木明美/東山遊園(株)開発本部 星が丘テラス営業部 エリアリレーション推進担当 シニアディレクター

2023年は、約50年間にわたって愛された「星が丘ボウル」のラストイヤー！ボウリング場のバックヤード潜入から、「ポタニカルタウン宣言」を掲げる星が丘テラスでのポタニカルワークショップまで。特別な体験を楽しみながら、星が丘の”今”と”これから”を歩いて学びました。



空きビルが交流拠点に！まちの仕掛け人と歩く「笠寺」
～観音様や商店街、迷路のような路地も～
【六の市や春祭りも当日開催】

◎開催日時 | 2024年3月16日(土) 10時～12時
◎教室 | 本笠寺駅周辺
◎先生 | 宮本久美子/一級建築士・宮本久美子建築設計事務所 主宰

下町風情が残る本笠寺駅周辺には、新たなスポットも続々と誕生しています。案内してくれたのは、「かさでらのまち食堂」代表で、笠寺に建築設計事務所を構える宮本久美子さん。笠寺観音の境内で開催される「六の市」と、商店街の春祭りに合わせて開催し、賑やかなまち歩きになりました。



2023年度の「まちシル」実施エリア一覧

4月 築地口、円頓寺商店街	7月 勝川	12月 東岡崎
5月 有松、尾張瀬戸	9月 今池	3月 笠寺、藤が丘
6月 長者町	10月 清水～尼ヶ坂、星が丘テラス	

About

大ナゴヤノート.

まち を 見つめて 書きとめて

紹介ページへ



まちを見つめて 書きとめて

「大ナゴヤノート.」は、エディターたちがまちで見つけた「いいな」「面白い」と感じるヒト・モノ・コトを、率直な言葉で記事にしているメディアです。2024年4月で開設5周年を迎えました。エディターのコミュニティは、書くことを通して学び合う場にもなっています。

ノート.

2023年度実績 掲載記事数

6 本

エディターがまちを各々の目線で切り取り、書きとめた記事を掲載しています。同じテーマで複数人が記事を書き、まとめたオムニバス形式の記事も。



オープンノート.

2023年度実績 開催数

1 本

大ナゴヤノート.のエディターたちのように、まちを自分の目線で見つめに出かけるフィールドワークです。2023年度は、オープンノート.開催後に、参加者さんにも記事を作成してもらった新しいチャレンジもしました。



About



はたらく課

紹介ページへ



そんな“はたらく”との出会い

出会いという言葉には、人との出会いだけでなく、「めぐりあい」という意味もあります。はたらく課は“はたらく”とのめぐりあいを生み出す活動です。いろんな“はたらく”を知ることで、これからの人生が変わっていくかもしれません。大ナゴヤ圏のはたらき方、生き方にスポットをあて、“はたらく”を通じて人とまちをつなげています。

まちの求人案内

掲載記事数

2 本

まちの求人案内「ハタラクデアイ」を通じて、新しい“はたらく”と出会った人も出てきました。これからも、求人記事を通じて、“はたらく”との出会いを丁寧につくっていきます。

地域企業に新しい雇用の可能性を提案！
「就労」で精神障害者と社会をつなぐ
一般社団法人しん



変わり目を迎える港まちの、
これからを一緒に考える
港まちづくり協議会



食ゼミ

大ナゴヤ大学の通常講座「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した生徒からの声で2010年3月に結成された食ゼミ。農業、調理、社会見学など、メンバー各自が興味のある分野で活動しています。2023年はようやくコロナが明けて、食ゼミ公式イベントを8回開催することができました。2024年も引き続き、しっかりと衛生対策をした上で、活動の機会を広げていく予定です。



地球の生物部

「地球の生物部」は、まちの一角にある植栽スペースで毎月第1木曜の朝8時から1時間ほど、花植えや草取り、水やりなど植物のお世話をしています。公共空間を自分たちで楽しく手入れすることで、自分のまちに関心をもってもらうきっかけの場をつくっています。

◎生物庭手入れ：第1木曜8:00～9:00頃（自由参加）
◎生物庭の場所：地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。若宮大通久屋 交差点付近



郡上大和 酒づくり研究会

岐阜県郡上市大和にある平野醸造の、水・杜氏・米すべて“メイドイン・オールグジョー”な酒づくりを応援。
今年も田植えから始まり、盃を交わし唄をうたい同じ釜の飯をいただきました。東京でのイベントで、杜氏と再会できた仲間も。草刈・稲刈と順調に成長を見守り、寒の蔵開きでは新酒を味わえる喜びも赤ら顔で共有できました。また来年も会いましょう！



まちの人と一緒につくる

大ナゴヤ大学が培ってきた、
まちの魅力を掘り起こして場をつくる力、多様な人と人をつなげる力。
それらを必要としてくださる人たちと一緒に、
新たな事業も生み出し、育て続けています。



About

 やっとかめ文化祭 DOORS

名古屋の歴史・文化と出会う

長い歴史の中で育まれてきた名古屋の文化を一堂に集めた祭典「やっとかめ文化祭」は、2023年に11年目を迎え「なごや文化の扉をひらく」を掲げ「やっとかめ文化祭DOORS」と名称を変更しました。NPO 法人大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワークは、2015年から、名古屋市や中日新聞などで構成される実行委員会の一員に。事務局運営に加え、まちなか寺子屋、まち歩きなごやの企画・運営なども担当。これからも、知らない名古屋と出会える機会をつくっていきます。

Webサイトへ



城子屋 shirokoya

名古屋城を学びの場に

名古屋城を、江戸時代の「寺子屋」のように地域に開かれた学びの場とするプロジェクト。名古屋城調査センターによる企画もあり、多彩なテーマと城を掛け合わせた講座を実施しています。2023年度は、調査研究センターと大ナゴヤ大学で、やっとかめ文化祭連動企画も含めて7講座を開催。尾張徳川家の蔵書、尾張藩のまつり、能・狂言、漆工芸など、多彩な内容を取り上げました。

名古屋城のWebサイトにも
レポートが掲載されるよう
になりました。



 SOCIAL TOWER PROJECT

名古屋のまちに新しいカタチの“社交場”を

2012年にテレビ塔のある公園からスタートした「SOCIAL TOWER MARKET」。2022年からは、オアシス21での春2回、秋2回の開催へと展開し、身近で日常的な「社交場」づくりにチャレンジしています。10月の名古屋城や2月の松坂屋での開催とあわせて年6回のマーケット。ボランティアスタッフの皆さんには年間を通して参加していただき、自分たちの街をより魅力的にしていける活動をいっしょに進めていきます。

Webサイトへ



DNUからの
お知らせ

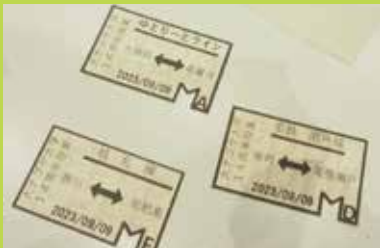
1

開校14周年！
テーマは「まちに出よう！」

2009年9月に開校した「大ナゴヤ大学」は、2023年9月に14周年を迎えました。

ここ数年間まちを巡る周年企画を実施していなかったり、コロナの影響が少なくなってきたタイミングでもあったりしたので、14周年のテーマは、「まちに出よう！」でした。

授業タイトル「街に出よう！ナゴヤ圏の路線で『まだ見ぬ面白い』を楽しむ旅～城北線・名鉄瀬戸線・ゆとりーとライン～」にあるように、特色のある3路線、城北線・名鉄瀬戸線・ゆとりーとラインのどれかに乗って、沿線にある駅の周辺で「面白い」を発見する旅。5チームに分かれて旅を楽しみ、最後に発表ありの大ナゴヤ大学らしい周年企画となりました。



2

まちのプレイヤーを育成する
「Co-Cultivate Community Class」

これからのローカルビジネスの作り方を学ぶ場として、今年も「Co-Cultivate Community Class (CCCC)」を開講しました。ローカルで活躍する7組の講師を招き、報告会では「まちのビジネスプラン」を発表。12名の参加者から7つのアイデアが生まれました。うち1つは会場としてフィールドしていただいた喫茶七番で継続実践されています。



人が集まるということ

2023年度は、開校当初の理念を継承している「大ナゴヤの日」の運営が安定。いくつかの運営チームも生まれて、毎月第2土曜は、授業・振り返り・懇親会を実施し、人が集まる場をみんなで作ってきました。多くのメンバーの協力のおかげで、毎月人が集まり、コミュニケーションがある状態を作れたことで、そこから新しい授業が2024年度にはたくさん生まれています。これからも、地道に毎月第2土曜に人が集まり、コミュニケーションがある場を作り続けていきます。一方で、「まちシル」や「ハタラクデアイ」にかける時間があまりとれませんでした。無理のないやり方で、いくつものプロジェクトが運営されていく形式を模索していきます。

理事長
大野 高明



予感を実現に向けて

昨年実現した新たなプロジェクトの2年目。「まずはやってみよう」というところから、再現性を意識したり、より影響力を大きくしたりという思考をめぐらせる機会が増えました。私の考える「大ナゴヤらしさ」は一人ひとりの”やってみよう”という想いを実現している人たちと支える人たちが共存しているところ。この1年間「大ナゴヤの日」の授業企画に携わる人が少しずつ増えてきていて、なんだか面白いことが起きる“予感”がしています。そんな予感を大切に、「まだ見ぬ面白い」のタネを紡いでいきたいです。

理事
山田 卓哉



これからもつないでいきたい学びの場

自発的に学び、考える。周りのものごとへの興味関心を深める。学校教育で主体的・対話的な学びの実現が目指される昨今、こうした構想に合致する実践は決して簡単なものではないと感じています。さらに、大人になってから学びのきっかけを得て、継続的に知識や思考を深めるのは、誰でもできることではありません。ですが、大ナゴヤ大学の活動を思い出すと、関わる人各々が自ら考え、自ら学び、自ら授業で表現する機会がいつでもあふれています。これってすごいことなのでは。15年をこえ、この先も誰もが学び続けられる場所をつないでいけたら嬉しいです。また1年、たくさんのご参加、ご協力に感謝申し上げます。

理事
小林 優太



大ナゴヤ大学サポーター

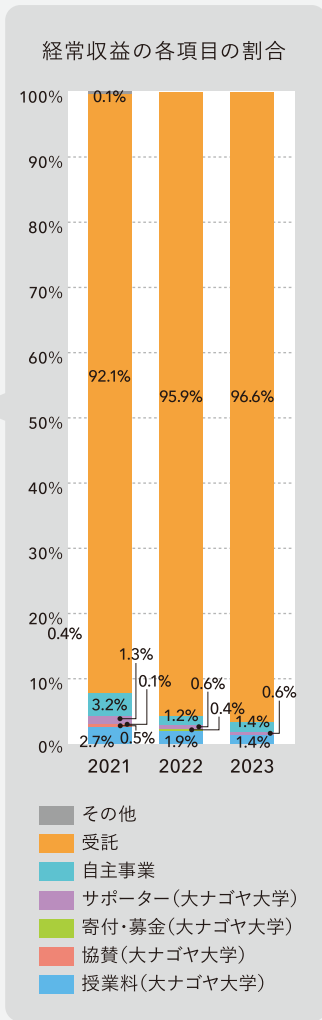
サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代・第2土曜に開催される授業の講師謝金などに充てさせていただきました。

	2021年度	2022年度	2023年度
月額・年額サポーター	36名	33名	13名
ワンタイムサポーター	0名	0名	1名
受取会費	189,277円	160,116円	137,571円

活動報告

活動計算書(会計期間:2023年4月1日～2024年3月31日) (単位:円)

		2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	①受取会費	189,277	160,116	137,571
	②受取寄付金	11,500	96,534	521
	③事業収益	14,227,760	26,911,297	24,152,934
	④その他収益	11,039	34	15,032
経常収益合計		14,439,576	27,167,981	24,306,058
経常費用	①事業費	9,060,078	19,313,248	17,021,088
	②管理費	6,236,150	7,640,993	7,081,380
経常費用合計		15,296,228	26,954,241	24,102,468
当期経常増減額		▲856,652	213,740	203,590
法人税等		71,000	71,000	71,000
当期正味財産増加額		▲927,652	142,740	132,590
前期繰越正味財産額		5,824,535	4,896,883	5,039,623
次期繰越正味財産額		4,896,883	5,039,623	5,172,213



2023年度の経常収益は24,306千円、経常費用は24,102千円でした。減収となりましたが費用をおさえ、当期経常増加額は132千円となりました。

フォロー・登録してね

SNSでも
大ナゴヤ大学の
情報を発信！



Facebook



X



Instagram



YouTube



大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク 2023年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2023

進行：イトウユキコ
制作：COUPGUT

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201(事務局所在地)
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp
dai-nagoya.univnet.jp